

2024 年度

松山市立小百合保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 2 月 3 日（月）～2 月 28 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025 年 3 月 3 日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念のもと『一人ひとりを大切に』『保護者や地域と共に』ということを職員全員が常に意識し、子どもの気持ちを受容し、子どもにとって適切な保育を行えるよう、職員会やチーム会で話し合いや振り返りを行っている。今後も、理念を職員の行動基準として、具体的な基本方針のもと、適切な保育を行なっていきたい。
子どもの発達援助	一人ひとりの子どもの興味や関心、意欲を大切にし、子どもが安心して自分の思いを自由に表現したり、やってみようとする原動力を育む保育環境づくりに取り組めた。今後も、STEAM教育を取り入れ、子どもの主体的な学びの基礎作りにつなげていきたい。
保護者に対する支援	行事や参観等、年間を通じて子どもの成長を感じる機会をつくったり、日常的な送迎時のコミュニケーションや掲示、連絡帳や『育ちの記録』等を活用し、子どもの理解の共有を図っている。今後も、保護者の意見や考えを、安心して話したり相談できる環境や機会づくりに努めていきたい。
保育を支える組織的基盤	職員全員が同じ方向性を持って保育に取り組めるよう、職員会やクラスミーティング、チーム会等の機会に思いや考え、意見を出し合い、互いの理解共有につなげている。キャリアアップ研修を積極的に受講し、保育の質の向上に努めている。

総評
保育理念のもと、安全安心な環境のなかで、一人一人の子どもが、楽しく主体的に活動できるよう、『子どもにとって』を第一に考えた保育や教育を行うことを目指している。一人一人の職員の強みや特性をいかしたチーム保育で、子どもの成長を支援していきたい。また、保護者から頂いた意見や提案は、保育に反映させるとともに、自己評価においての気づきや改善点を、職員全員で共有し改善行動につなげていきたいと思う。